

# 現場レポート ~VOICE~



## ささいなことでも 私たちに相談を

行田市地域包括支援センター緑風苑  
主任介護支援専門員(ケアマネジャー)  
栗原 幸江さん

単身で暮らす高齢者や高齢者夫婦だけで暮らす世帯、認知症を患う高齢者がいる世帯が増えているのを感じます。最近では、認知症の方に対する介護の仕方やその病気による消費者被害を受けていることについての相談を受けるケースが多くなってきています。

特に介護の相談について、症状が重くなる前に相談してくればもっといい方向に導いてあげられたケースもたくさんありますので、ぜひ介護認定を受ける前から気軽に相談してください。

地域によって、相談内容や人と人とのつながりが異なりますが、高齢者が安心して生活を送るためには、地域とのつながりを強くし、情報を発信しやすい環境や人間関係をつくるのが大切だと思っています。ですから、「あれ?おかしいな」と思ったり、ちょっとでも困ったことがあったりしたら、すぐに私たち地域包括支援センターに相談してください。

## 地域包括支援センターがあって 心強いです



田沼 希一さん  
佐登子さん  
(北河原)

Q. 地域包括支援センターに相談しようと思ったきっかけを教えてください。

佐登子さん「数年前に左大腿骨を骨折した時、主治医から『リハビリのためにデイサービスを利用したらどうですか』と提案され、地域包括支援センターに相談するようになりました」

Q. 地域包括支援センターに相談してよかったことを教えてください。

希一さん「介護サービスで玄関に手すりをつけてくれるなど、自分たちでは思いつかなかった情報を与えてくれたり、自分たちの生活を一緒に考えてくれたりしたことがとてもうれしかった。地域包括支援センターの相談員がいてくれてとても心強かったです」

## いきいきと安心して 暮らせるために

高齢者の皆さんの周りには、地域包括支援センターを中心に、行政、地域包括支援センター相談協力員などさまざまな方があなたの生活を気にかけています。

何か不安なことや気になることがあったら1人で悩まず、「そうだ!ほうかつに相談してみよう」と気軽に各地区を担当する地域包括支援センターに話をしてみてください。親身になってあなたと一緒に考えてくれます。

これからも地域包括支援センターが地域での中核機関となって、医療機関、介護サービス事業者、民生委員および地域のボランティアなどと手をとり合って、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、地域福祉の推進に努めていきます。



▶問い合わせ  
高齢者福祉課高齢福祉担当  
(内線223)

## 地域包括支援センターと 高齢者を結ぶパイプ役



地域包括支援センター  
相談協力員  
坂本 由枝さん  
(佐間)

私たち地域包括支援センター相談協力員は、自治会長および民生委員からの推薦を受けて、さまざまな支援を必要とする高齢者などの見守り活動を行っています。具体的な活動としては、高齢者に健康状態を確かめるなど声を掛けて情報交換を行ったり、各地区で開催されるいきいきサロンに民生委員や自治会長と共に参加したりして、地域の高齢者の状況を把握しています。また、地域包括支援センターで開催する研修に参加し、高齢者との関わり方や認知症の実情などの知識を深めています。

しかし、日々の生活の中でどこまで高齢者と深く関わりを持つべきか分からなくなることも。そんな時に地域包括支援センターがフォローをしてくれるのでありがたく感じています。

私たちは地域包括支援センターと連携を密にしています。どんなささいなことでもご相談ください。責任を持って地域包括支援センターへの橋渡しを行います。